

受付	個人質問	第 号
	令和 年 月 日	時 分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和3年11月15日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 木村さゆり

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>人権と多様性を尊重する社会を</b></p> <p>(1) 第3次長久手市男女共同参画基本計画について進捗状況はどのようなか。</p> <p>(2) DV、児童虐待の過去3年間の相談件数はどのようなか。</p> <p>(3) 電通ダイバーシティ・ラボが2020年に行った「LGBTQ+調査」によると、日本人の8・9%がLGBTQ+層であることがわかった。また、LGBT以外の多様なセクシュアリティの存在も明らかになった。この現状についてどのような認識か。</p>	
2	<p><b>周産期グリーフケアについて</b></p> <p>流産や死産等を経験した女性における相談ニーズは多様であり、また、継続的な切れ目のない支援体制が求められる。</p> <p>(1) 令和3年5月31日付で国から自治体に発出された通知には、流産や死産を経験した女性への支援に活用可能な事業が示されているが、本市における当事者への対応はどのようなか。</p> <p>(2) 当事者に精神的負荷をかける事態を防ぐための死産情報共有について、本市の現状はどのようなか。</p> <p>(3) 産婦健康診査事業導入についての本市の考えはどのようなか。</p>	

3	<p><b>健康寿命延伸のため骨粗しょう症対策を</b></p> <p>全国では総人口の約1割に当たる1,280万人の骨粗しょう症の患者が存在していると報告されている。特に女性に多く、女性が約980万人、男性が300万人である。健康寿命を延ばすためにも骨粗しょう症対策は欠かせないものとする。</p> <p>(1) 本市における骨粗しょう症対策はどのようなか。 (2) 骨粗しょう症検診を実施しないか。</p>	
---	---	--